



ΕUREKA LABO

建設業・設備業向け サービス紹介資料

株式会社Eureka Labo



01	会社とサービス	P.03 – 04
	2つのサービスと、ご相談から着手までの進め方。	
02	ソフトウェア開発	P.05 – 07
	開発領域と支援範囲、課題解決のイメージ、試算例。	
03	AI導入支援	P.08 – 10
	支援内容と支援範囲、業務改善のイメージ、試算例。	
04	費用とご相談	P.11 – 12
	費用の目安と、30分無料面談のご案内。	

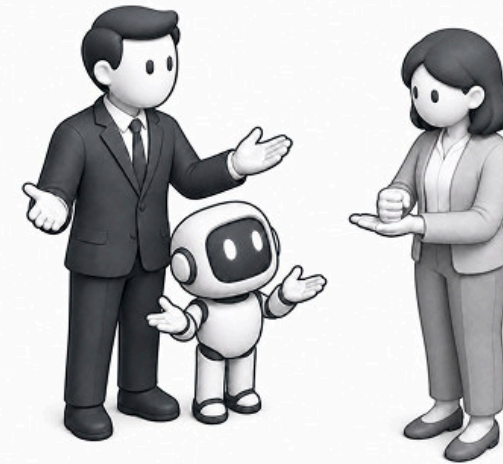
EUREKA LABO は 2つのサービスを展開しています

ソフトウェア開発



企業ごとにカスタマイズされた
必要十分な機能を備えた開発

AI導入支援



繰り返し・手入力・目視をAIに任せ、
人は判断に集中できるように

進め方

初回相談から概算見積まで無料で行います
ご契約までの打ち合わせは原則2回・最大3回程度

30分の無料面談

サービスの説明やご相談内容を伺います

無料

詳細ヒアリング

業務の流れ、既存システム、現在の課題などを確認

課題と方向性の整理

改善する業務と、AI導入・開発の方向性を整理

打ち合わせ
2~3回程度

提案・概算見積

支援内容、進め方、期間、概算費用をご提示します

ご契約・サービス開始

内容にご納得いただいた後、正式に着手します

ソフトウェア開発

新規サービスの立ち上げから、社内業務のシステム化など
課題やアイデアを整理し、実際に使えるソフトウェアとして形にします。

開発領域

- ・ 新規Webサービス・MVP開発
- ・ 業務システム・社内ツール開発
- ・ モバイルアプリ開発
- ・ 既存サービスの機能追加・リニューアル



支援範囲

企画・要件整理

UI/UX設計

開発

リリース

保守・改善

ソフトウェア開発による課題解決のイメージ

	困りごと	開発するもの	解決後
現場報告	現場のメモや写真を持ち帰り、Excelや報告書へ入力し直している	点検結果と写真をスマホで記録し、報告書を作成する仕組み	帰社後の転記を減らし、報告書の提出を早める
工程・変更	指示や図面変更が電話・メール・チャットに分散している	変更内容を図面や工程に紐づけ、関係者へ通知する仕組み	伝達漏れを減らし、施工の手戻りを防止
設備履歴	過去の点検・修理・部品交換履歴が顧客や現場ごとに分かれている	設備ごとに点検・修理・交換履歴を検索できる仕組み	履歴を探す時間を減らし、現場対応を早める
協力会社	入場書類や資格証を、工事のたびにメールや紙で集めている	必要書類をWebで回収し、不足や期限切れを確認する仕組み	書類の回収漏れを減らし、着工準備の遅れを防ぐ

ソフトウェア開発の試算例

設備点検の記録・報告書作成をシステム化した場合



想定する企業

- ・設備保守・点検会社
- ・従業員約30名／現場担当8名
- ・月間点検報告書160件



開発するもの

- ・点検結果と写真を記録するスマホ入力画面
- ・入力内容から報告書と写真台帳を作成する仕組み
- ・管理者による確認とPDF出力、設備履歴への保存

導入前

現場で紙に記入し、写真を個別に保存。
帰社後にExcelへ転記して報告書を作成。1件あたり約30分。

導入後

現場で入力した内容から報告書を自動作成。
担当者は内容と不具合箇所だけを確認。
1件30分 → **10分** に短縮。



試算効果

作成時間 約 **67** % 削減

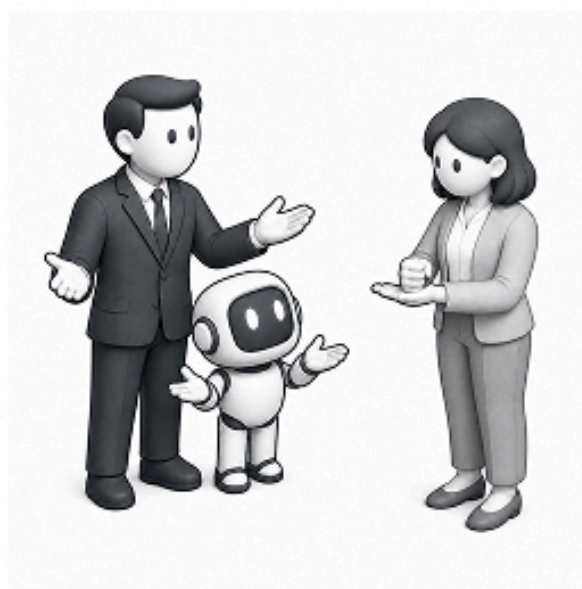
月間 約 **53** 時間 削減

年間 約 **160** 万円 相当

※月間160件、1件30分→10分、時間単価2,500円として換算。
報告書は担当技術者・管理者が確認する前提です。

AI導入支援

ClaudeやCodexなどのAIツールを業務に合わせて導入・設定し、日々のワークフロー改善につながる使い方を整えます。



支援内容

- AIを活用できる業務の整理
- Claude・Codexなどのツール選定・初期設定
- 業務別のテンプレート・利用手順の整備
- 社内研修・利用ルールの策定
- 導入後の活用支援・改善

支援範囲

業務ヒアリング

ツール選定

初期設定

活用設計

研修

運用改善

AI導入支援による業務改善のイメージ

	困りごと	整えること	解決後
報告書作成	現場のメモ・写真・点検結果を集め、報告書を一から作っている	報告書の書式・使用用語・出力項目をAIに設定	文章と写真を整理する時間を減らし、報告書作成を早める
図面・仕様	図面や仕様書の新旧資料を並べ、変更点を目視で確認している	比較する項目・変更点の抽出方法・出力形式を設定	変更の見落としを減らし、関係者への共有を早める
見積準備	現地調査メモや仕様書を読み、工事項目を一から整理している	工事項目・必要部材・確認事項を抽出するテンプレートを設定	見積前の情報整理を減らし、積算への着手を早める
保守対応	マニュアルや過去の修理報告を探し、詳しい人へ確認している	承認済みのマニュアル・報告書をAIで参照できるよう整理	必要な情報を探す時間を減らし、担当者への依存を減らす

AI導入支援の試算例

現地調査から見積準備までをAIで支援した場合



想定する企業

- ・従業員約15名の設備工事会社
- ・営業・積算担当3名
- ・月間見積件数30件



整えること

- ・承認済みの過去見積・工事項目・参考資料をAIに設定
- ・現地調査メモと仕様書から、工事項目と確認事項を抽出
- ・見積項目の下書きを作成し、担当者が数量と金額を確認

導入前

現地調査メモと仕様書を読み、
過去見積を探して工事項目を整理。1件あたり約90分。



導入後

AIが工事項目・必要部材・確認事項を整理。
担当者は数量・単価・施工条件を確認。
1件90分 → **45分** に短縮。



試算効果

準備期間	約 50 %	削減
月間	約 23 時間	削減
年間	約 81 万円	相当

※月間30件、1件90分→45分、時間単価3,000円として換算。
数量・単価・工法・最終見積額は担当者が判断する前提です。

費用について

初回相談から概算のお見積りまでは無料です。
ご提案内容と費用にご納得いただいた後、契約・着手します。

ソフトウェア開発

支援内容（例）	期間の目安	費用の目安
要件整理・技術検証	1～3週間	10万円～
試作・小規模な業務ツール開発	2～6週間	30万円～
本格的なシステム・サービス開発	1か月～	個別見積

AI導入支援

支援内容（例）	期間の目安	費用の目安
ツールの初期設定・活用方法の設計	1～3週間	10万円～
業務別テンプレート・利用ルール・研修	2～4週間	20万円～
導入後の活用支援・改善	月単位	月額5万円～

費用は、対象業務の範囲、利用人数、既存システムとの連携、データの状態などによって変動します。
AIツールのアカウント料金、API利用料、クラウド費用などは別途発生します。

AIか、開発か。 決まっていなくても構いません。

現在の業務と困っている箇所を伺い、
最初に取り組む範囲を一緒に整理します。

30分無料面談を申し込む

事前準備は不要です。
帳票やExcelなどがあれば、より具体的にお話できます。



εUREKA LABO

hero.matsuyama@eurekalabo.com

<https://www.eurekalabo.com>